

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	海外研修 I
科目基礎情報						
科目番号	13029		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材						
担当教員	三谷 芳弘					
到達目標						
(1) 海外の学生、技術者、研究者などに自分の意見を伝えることができ、また、海外の学生、技術者、研究者との交流を通じて、日本との技術者教育、文化、習慣の違いを理解し、実習で得られた成果を中心に海外研修報告書にまとめることができる。 (2) 実習を通じて学んだことを中心に、海外で体験した内容をまとめ、報告会または面接において他者に説明することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安		
評価項目1	海外の人に自分の意見を伝えることができ、また、実習で得られた成果と文化の違いについて分かり易く報告書にまとめることができる。	海外の人に自分の意見を伝えることができ、また、実習で得られた成果を分かり易く報告書にまとめることができる。	海外の人に自分の意見を伝えることができ、また、実習で得られた成果を報告書にまとめることができる。	海外の人に自分の意見を伝えることができず、実習で得られた成果を報告書にまとめることができない。		
評価項目2	実習を通じて学んだことと文化の違いに関し、海外で体験した内容をまとめ、報告会または面接において他者に分かり易く説明することができる。	実習を通じて学んだことを中心に、海外で体験した内容をまとめ、報告会または面接において他者に分かり易く説明することができる。	実習を通じて学んだことを中心に、海外で体験した内容をまとめ、報告会または面接において他者に説明することができる。	実習を通じて学んだことを中心に、海外で体験した内容をまとめ、報告会または面接において他者に説明することができない。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	・本科目では、学術交流協定校等で実習・研修・発表を行い、英語や現地語によるコミュニケーション能力を身に付ける。 ・海外の学生との交流や企業訪問及び文化遺産訪問などを通じて、日本との技術者教育の相違、文化・慣習・考え方の相違を学び、グローバルな人材としての視野を広める。 ・海外研修報告会において発表を行う。					
授業の進め方・方法	・渡航先での研修日数は、5日以上15日未満とする。 ・海外研修を履修した学生は、本研修で得られた成果等を報告書としてまとめ、1) 海外研修報告書、2) 海外研修日誌、3) 海外研修証明書を提出および海外研修報告会の発表を行い、ルーブリックの最低限の到達レベル以上を満たしていると判断された場合に単位を認める					
注意点	8～9月 実施（夏季休業期間）と3月 実施（春季休業期間）とで申込みや報告書の提出期間等が異なるためシラバスをよく確認すること。 帰国後も語学学習の継続や国際交流イベントへの参加によってグローバルマイスター、エクセレントグローバルマイスターの認定を目指すこと。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	学内ガイダンス 【8～9月 実施】4月 【3月 実施】10月	学内ガイダンスに参加し内容について理解することができる。		
		2週	申込みと受入先の決定 【8～9月 実施】～5月 【3月 実施】～11月	受入先について調査を行い、申込みおよび受入先を決定し、海外研修履修届を提出することができる。		
		3週	事前教育 【8～9月 実施】6～7月 【3月 実施】11～12月	本科目の意義と目的および研修中の注意事項などに関する事前教育について理解し、渡航前の準備を行うことができる。		
		4週	海外研修 【8～9月 実施】8～9月 【3月 実施】3月	指定された期間に、学術交流協定校等において5日以上15日未満の実習・研修・発表等を行い、以下の到達目標を達成することができる。 (1) 気持ちや意見を言葉などを通じて、海外の学生、技術者、研究者などに伝えることができる。 (2) 海外の学生、技術者、研究者との交流を通じて、日本との技術者教育、文化、習慣の違いが理解できる。		
		5週	報告書提出 【8～9月 実施】～10月 (11月) 【3月 実施】～4月 (5月)	海外研修を履修した学生は、本研修で得られた成果等を報告書としてまとめ、1) 海外研修報告書、2) 海外研修日誌、3) 海外研修証明書を提出することができる。		
		6週	報告会または面接 【8～9月 実施】10～11月 【3月 実施】4月～5月	海外研修で得られた成果をまとめ、海外研修報告会 (または面接) において報告を通じて他者に説明することができる。		
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				

		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	海外実習報告書	報告会または面接	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	60	40	0	100
知識の基本的な理解	0	0	0	0	0	0	0
思考・推論・創造への適応力	0	0	0	0	0	0	0
汎用的技能	0	0	0	30	20	0	50
態度・志向性（人間力）	0	0	0	30	20	0	50
総合的な学習経験と創造的思考力	0	0	0	0	0	0	0